

平成24年度工業標準化事業表彰 「産業技術環境局長表彰（貢献者）」受賞

2012年10月15日に先進技術研究所の垂澤 芳明氏は、経済産業省平成24年度工業標準化事業表彰に関して、「産業技術環境局長表彰（貢献者）」を受賞しました。工業標準化事業表彰は、国際規格や日本工業規格の作成・普及への功績が顕著であると認められる個人および組織を表彰することで、工業標準化の適切な推進と普及促進、経済産業の発展と国民生活の向上に寄与することを目的に、工業標準化推進月間である10月に表彰が行われています。このうち「産業技術環境局長表彰（貢献者）」は、国際標準化活動を幅広い側面から支える関係者の方に贈られます。

垂澤氏は、携帯電話基地局周辺の環境電磁界評価規格であるIEC/TC106（人体ばく露に関する電界、磁界、及び電磁界の評価方法）のIEC 62232（人体ばく露に関わる無線通信基地局周辺におけるRF電界強度及びSAR決定法）、およびIEC/TR 62669（IEC62232のケーススタディ - 人体ばく露に関わる無線通信基地局周辺におけるRF電界強度及びSAR決定法）のエキスパートとして活躍され、我が国の状況に整合した国際規格

策定に尽力しました。これらの規格は、無線周波数300MHzから6GHzの無線通信基地局を対象としており、LTEや今後想定される各種の基地局を網羅しています。アンテナタワーを利用する比較的大きなアンテナシステムから屋内設置の小型の基地局装置まで、多様な形態の基地局について、そのアンテナ周辺の環境電磁界を統一的に評価するものです。特に、移動無線サービスで利用する無線周波数帯域が増える状況において、電波を利用した複数のシステムが共存する環境電磁界の条件下で基地局アンテナ周辺のRF電磁界およびSARの評価を正確に行うことができます。今後、本規格を用いることで、基地局システム全体の設計の効率化を期待できます。

今回、これら規格の策定とともに、IEC/TC77（電磁両立性）関連の国際規格およびJISの策定にも参画し、国内・国際の移動通信システムにおける電子機器の相互利用環境の構築に多大な貢献をしました。これらの功績が評価され、今後も引き続き国際標準化活動への寄与が期待されることから、今回の受賞となりました。

